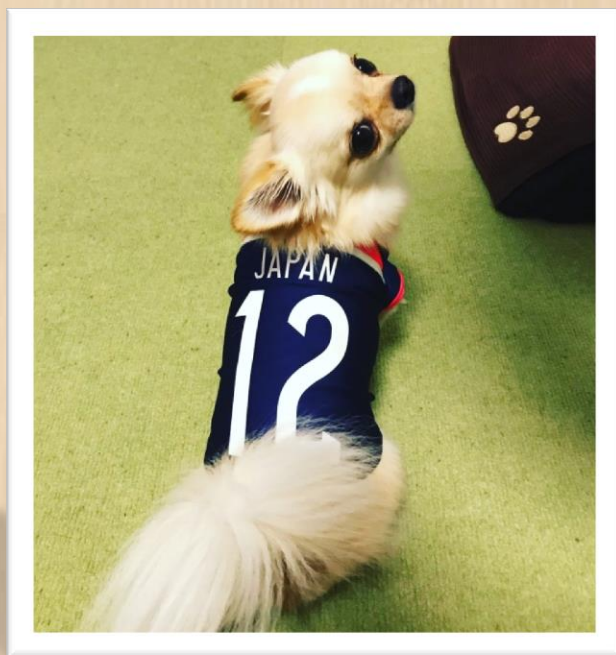




WORLD CUP出場！



今回のわんこ♪

リオ君

チワワ

男の子 1歳10ヶ月

サッカー日本代表試合があると、飼い主にオフィシャルユニフォームを着せられます。応援しているかは不明です。

今回のテーマ

NSAIDs

今回はNSAIDs、非ステロイド性消炎鎮痛薬についてです。

人間では、頭痛、腰痛、歯痛など様々な痛み、解熱のためと、幅広い症状に使われるNSAIDs。

右にあげた代表的薬剤は、犬や猫など、どうぶつでも使用します。

さて、人間と比べて動物のNSAIDsで特徴的なことがあるのですが、なんでしょう。



正解は【持続時間の長〜い製剤があること】です。

コキシブ系で「1ヶ月に1回」というものがあります。

正確に言うと、始めの1回目の投与後、2回目は14日後、以後1ヶ月後という使い方です。

※適応は変形性関節症のみで、通常の消炎鎮痛の目的では使いません

これはどうぶつ専用の医薬品です。なぜ、このような長期持続のお薬をわざわざ犬のためだけに製薬会社は開発しているのでしょうか。



私見ですが、犬は痛みを伝えられないからじゃないかと思います。見た目は普通にしてても、犬は反射的に走ったり飛んだりしますが、とてもつらい思いをしていることもあります。昨今、ようやく犬や猫の痛み表現の研究がアメリカ先導で進んできたところですが、痛みを長期間緩和してあげるお薬は犬のQOLを考えた時に必要不可欠なのかもしれませんね。

そんな観点でどうぶつのお薬を見てもみるのも新しい発見があるものです。